

## 今日の説教のポイント<マタイによる福音書 17 章 22～27 節

### ①ペトロが簡単に「納めます」と言ったことが問題の始まり。

イエス様は、ペトロが「(イエス様は神殿税を) 納めます」と簡単に答えたことに問題を覚えられたようです。「家に入ると、イエス様の方から言いだされた」(25)からです。何が問題だったのでしょうか？

### ②気づかないで犯す罪がある。そのことに気づくことが大事。

イエス様はペトロに、「王様は自分の子供からは税金を取らない。だから私も神殿税を納める必要はない。私は神殿の主である神様の子だから」と話されました。よって、ペトロが簡単に「納めます」と答えたのは正しいとは言えないのです。私たちも、何気なく言ったりしたりすることが実は神様を軽んじていたり、神様におかしな要求をしたりすることになっているのではないかな、と思いました。イエス様のことを私たちはどれだけ重んじているか。まず、そのことについて考えさせられる今日の箇所です。

### ③そんな私たちを赦し、寄り添い、導いて下さるお方イエス様！

ですから、「納めます」とペトロが簡単に返答したのは実は正しくはなかったのです。しかし、主はこわい顔をしてペトロを怒るのではなく、優しくそのことを諭された後、別の視点からも考えて、どうすべきかの指示を与えられました。それは、「納める必要はない。しかし、彼らをつまずかせないために納めなさい」でした。「つまずかせる」と訳された元のギリシア語はスカンドロー、つまりスキャンダルの原語で、1) 罪に誘う、2) 不快にする・怒らせる、といった意味の語です。イエス様は、ご自身にふさわしい行動を私たちに無理やり取らせようとするのではなく、むしろ理解不十分な私たちの状態の方に合わせて下さり、私たちが怒って、ご自身から遠ざかる罪を犯すのをなんとかして避けさせようとして下さったのです！

ペトロが気づかず犯してしまった過ちを怒らず優しく諭して下さった主。そして、自ら身を低くして私たちになんとか導こうとして下さる主。この主がおられ、今も私たちに「従って来なさい」と呼びかけて下さっているのです！ 喜び、感謝、希望、力が湧いてきます！